

## みんなで進める構造改革

久 が 原 管 内 地 区	人口	男	12,362人
		女	12,541人
		計	24,903人

  

世帯	11 014	世帯

平成13年12月1日現在



発行：わがまち大田久が原地区  
推進委員会  
編集：地域情報紙「くがはら」  
編集委員会  
事務局：大田区久が原特別出張所  
〒146-0085 大田区久が原2-19-3  
TEL (3752) 4271  
FAX (3752) 4514  
題字：三木兼吉



久が原地区自治会連合会の会長として六年間の長きに亘りご尽力、ご活躍くださつた宮田篤二さんが昨年五月で勇退され、後任会長に就任した松田でございます。

浅学・非才な未熟者から、責任の重きを痛感し、会長職を全うできるか多分に不安もありますが、皆様からお知恵をお借りしながら、大田区のビジョン「安心」「輝き」「潤い」の街づくりのため微力を尽くす覚悟であります。つき

## 久が原地区 自治会連合会長

年頭のごあいさつ

一粒で三度は美味しい  
ロードライブのスマート

最近、自慢のアボリツカーレを手放し、電気とガソリンで走るハイブリッドカーを購入しました。それと言うのも、ますます厳しさを増す交通の取締りと高燃費に、未来が見えなくなつたからです。

この新顔、何といつてもガスを食いません。先日も伊豆・箱根を巡つて、かかつた燃料代が往復たつたの千円！ここまでやるには少々コツを要しますが、一般的の車でも同じこと。アクセル・ブレーキとも使用を控えめに、自分

ましては、皆様の温かいご理解、力強いお力添えを切にお願い申し上げます。  
年頭に当たり、皆様のご健康ご多幸を心より祈念申しあげ新年のご挨拶と致します。



平成十四年壬午

謹賀新年

大人になると  
川田詩子

川田詩子

「大人になるということは自分より小さい子が増えること」。昔、読んだ絵本のこの言葉が、何よりも私に「大人」を実感させる。

昨秋、十代最後の旅行で京都へ行つた。暖かい色彩を帶びた紅葉を見上げる私の隣で、小さな少女がきれいな落ち葉拾いに没頭していた。彼女は、背も心も大地に近かつた。上ばかり見上げ、足元が見えないのでなく、私も彼女のような目の高さを保ち続けたい。

齡といふ姓組みに縛られるのではなく、その姓組みを超えていつまでも自分らしく、私は生きたい。不安なニュースばかりが続く今日、自分にできることはないかと考へる。私の周りの家族や仲間を大切に、愛を持つて向き合つていきた。そしてその輪が広がつていけたらと思う。



成人的日に寄せて

深まりいく秋を感じた  
二十四年ぶりの  
大山ハイキング

好天に恵まれた晚秋の三連休の初日、高速道路には紅葉狩りでしょうか、車が溢れ、渋滞。港北パークインまで二時間もかかるという異常ぶりでした。渋滞の中には先を急ぐ車もあつたことでしきりが、事故防止には流れに身を任せしていくしかないと思いつながらも、イライラし、こんな時夫が一緒になくてよかつたなあと思いました。

参加させていただいたこの大山バスハイクは、久が原書少対の主催と伺いましたが

地域の方々に、青少対を理解していただく機会を作られ、PRに努めていらっしゃるのが読み取れました。

地域の方々に、青少対を理解していただく機会を作られ、PRに努めていらっしゃるのが読み取れました。渋滞中の車内では歌集が配られ、みんなで歌うなど、はあるか遠くになつた青春時代の歌声喫茶を懐かしく思い出しました。渋滞もまた楽しめずや、バスの窓から身を乗り出し、沿道の農家の方から梅干や柿、柚子を買うことができ、帰宅してからの話題の一つになりました。グラデーションのかかった紅葉や真っ赤な楓に深まり行く秋を感じた二十四年ぶりの大山でした。

れる。しかし、私は十八歳の時から、大学のゼミや友人と飲んでいたので、二十歳の概念は皆無に等しかった。ただ、節目の時期なので今までの人生を振り返つてみると、これまで様々な経験をしてきたことに気づく。その体験全てが今の「自分」を形成しているわけだし、その過程で出会った友達、先生、その他私を成長させてくださった方々、全て私の財産である。

今はアルバイトに精を出していく、少し学校が疎かになつてはいるが、バイト先の人間模様にいろいろと刺激されて楽しい毎日を送つていて。でも、そろそろ将来のことも考えなくてはいけない。

まあ、じっくり決めるかな。

## イベント情報

●久が原東自治会新年会  
東寿会・八幡神社奉賛会の皆さんとご一緒に2002年を祝います。

1月12日（土）正午～  
東部八幡神社社務所2階にて  
会費3千円  
連絡先（3752）0717

●どんど焼き  
正月飾りを焚いた火であぶったおもちやみかんが、一年の無病息災をもたらします。

松飾りは当日お持ちください。

1月14日（祝）正午～  
西部八幡神社境内で  
参加費無料  
連絡先（3752）4179

●おもちつき大会  
新春の風物詩「おもちつき」が小学校で下記のとおり催されます。きな粉にあんこ。親子でついた美味しいおもちが、一年の福を招くことでしょう。

松仙小学校

1月20日（日）10時～  
久原小学校

1月27日（日）10時～  
どちらも参加費無料

●子どもレク大会

昨年好評を博した大森十中生と遊ぶ会が、パワーアップしてかえってきます。楽しいだけでなく、小学生が中学校を知るよい機会になります。ぜひご参加を。

3月9日（土）10時～  
小学生を対象に大森十中で

●青少対ボウリング大会

春がもうそこに。まずは気軽なスポーツを通じて仲間同士のきずなを深めませんか。豪華賞品を用意しています。

3月31日（日）10時～  
会場・トヨーボール池上  
小4～中3（保護者同伴可）  
参加費500円（靴代込み）

以上詳しくは

久が原特別出張所

（3752）4271まで

私たちの積年の希望であつたふれあい久が原への参加。しかし、いざ出場が決まるや、果たして人が集まるのか、それが気懸かりでした。生憎の曇天とは反対に、元気いっぱいの子ども達や熱心な保護者の姿を目にして、そんな憂いも吹き飛びました。

一方、模擬店や福祉の店そして常設コーナーなどが用意され、競技の合間に楽しんでもらおうという配慮を感じられました。何はさておき、盛り上がつたのは自治会対抗リレーでは

先輩4自治会を相手に、幸運にも優勝までさせていただきました。この場を借りて皆様に感謝申し上げます。

今回、初参加を通じて私たちは存在を示すことができましたが、ここはもう一つ欲

張つて、「連覇」を宣言します！

## 初出場・初優勝

# ふれあい久が原がんばる

昭和四十六年五月に、この地に開園した私たちの松仙幼稚園は、今年めでたく三十周年を迎え、この間に一六五四年を迎えた。有名な園児が卒園しました。一期生は、三十六歳にもなりました。区教育委員会をはじめ、歴代の園長、地域の皆様の出席を賜わり、十二月一日に記念式典と祝賀会を行いました。園児たちの手話の歌と、先生方が記念に作詞作曲なさった松仙音頭が披露されました。園庭ではパレードと一緒に釘を打ち、園児が色を塗り絵を描いた記念のバスを囲んで、完成を祝いました。祝賀会は、場所を久が原会館に移し、来賓を交え行いました。PTA役員によるアカペラの歌、そして先生方と一緒に歌いました。



総括として、これまでの多くの皆様のご支援に感謝しながら、児童教育への重要性を深く感じさせ、これまでの多くの皆様のご支援に感謝しながら、児童教育への重要性を深く感じさせることになりました。（PTA副会長 徳下恵子）

昨年の文化の日、旧大田区役所跡地に「大田文化の森」がオープンしました。館内にはスポーツスタジオをはじめIT体験ができる情報館等があり、子どもから高齢者まで誰もが楽しめるよう

委員会からの  
お知らせ

純白のたすき凜々しく弓始  
林田夏子

編集後記

○新年おめでとうございます。  
○今年もどうぞ近隣のニユースやご要望などお寄せ下さい。  
（かわまた）

若水の一杓小鉢五葉にも  
散りもみじ光悦柿の縄むすび  
屠蘇の座に白寿の母の笑ひ声  
鈴木定子 三木清子

になっています。  
また、区民が施設運営の心となつてていることもユニカルな試みといえるでしょう。とても画期的な「大田文化の森」。この施設が新しいまちづくりの核になれればと地元では期待を寄せてています。詳しく述べ左記までどうぞ。  
問合先（3772）0770

○新年おめでとうございます。内外ともに厳しい世相の中にも、新しい年を地域の皆様と明るく希望に満ちた年であります。内情紙「くがはら」も皆様のご希望に添うような内容の充実を図りたいと思います。

## 三十周年おめでとう

松仙幼稚園

因みに優勝旗と盃はヒルズ久が原1階のロビーに飾っています。（参考館の住民A）



# 久が原の四季「冬」

隨筆



寒さの緊張感を感じさせる葉をすっかり落とした銀杏の木も、遠目に円錐の姿で直立し、自然界の見事な芸術を見せてくれる。落ち葉を踏みしめると、小気味よい音がカサカサと心に響く。他人に対する無関心なこのご時世で、私たちちは一つとなつて走り、叫び、そして喜び合いました。

十一月の初旬には、山茶花が蕾を開いてゆく。つややかな緑の葉のそこそこに垣間見えます。どうぞご覧ください。（参考館の住民A）

冬の空気をより美しく感じさせるのは、松でしょうか。冷たい風の中にも凍とした枝ぶりは、門構えに、庭に、貫禄を見せている。貝塚いぶきや児手柏なども更に緑が鮮やかに映る。櫻の大木も、本来の枝だけの飾らない姿を見せる。青い空をバックに、坂道から見上げる細い枝は、冬のすがすがしさを感じさせ、厚い雲を背景にした墨絵色の枝は、

## 久が原の樹、枝垂れ梅

下は、久が原三丁目のお宅



「追い羽根」のような愛らしさで花びらを開いてゆく。乙女椿、わび助と古くから親しまれてきた椿は、冬の花の代表格と言えるでしょう。一輪で充分に存在を示してくれる。（参考館の住民A）

写真は昨年のものですが、姿が見られます。ご近所での見事な枝ぶりは、ご近所で評判になっています。ある、樹齢九十年とも言われる枝垂れ梅です。高さは4m 30cm、東西5m・南北に4mの幅で拡がっています。その見事な枝ぶりは、ご近所で評判になっています。